

A

手を挙げて答える（いちばんシンプル）

Teacher: What is this?

わかったら手を挙げる

指名された生徒が答える

正解が出なければ次のスライドへ

補足

挙手した中から一人を指名するのではなく、答えたい人は全員立ち、順番に答える方法もあります。人数が多いクラスなら、立った順に10人までを回答者とし、10人目が立った時点で締め切ります。その10人が順番に答えます。



B

Aをペアでする

Teacher: What is this?

ペアで相談する

A: Maybe it's a koala.

B: Maybe it's a bear.

自信があれば手を挙げる

挙手するのはどちらか一人。指名されれば、ペアで立ち、一緒に答えを言う。



C

ペアで正解を「守る」ゲーム（低学年向け）

ペアで答えが分かったら

👉 口を手で押さえる 🤔

最後に全員で

Teacher: 3, 2, 1!

Students: It's a ____!

Teacher: The answer is... a koala!

スライド1でわかったと思い口を押さえていても、スライド2で「やっぱり違うかも?」と思ったら、相談して答えの変更可能。



D

班でホワイトボードに答えを書く

スライド3枚を見てから、答えを相談して書く

Teacher: 3, 2, 1, show!

一斉に見せる

各班、自分たちの答えを読み上げる（各班全員で声を合わせて言う）

1班: It's a koala.

2班: It's an elephant.

3班: It's a mouse....



E

TV番組風

- 班ごとに楽しむゲーム
- 班の中で順番を決める（例：時計回り / じゃんけん）
4人→1～4 5人→1～5



【ルール】

- 各班から1人が前に来て、先生に小声で答える
- 早い者が勝ちではないので、走らない
- 1スライドで答えてよいのは1回だけ
- 班で決めた順番の人が答える
4人グループの場合、全部で12問あるので、
1枚目で答えられたとすると、1人3回ずつ答える

【得点】

- ・ 1枚目で正解 → ★★★★★
- ・ 2枚目で正解 → ★★★★★
- ・ 3枚目で正解 → ★★★★★
- ・ はずれ → 0ポイント

【流れ】

スライド①

- 先生：Look. What is this?
- 班で相談（5～10秒）
- 分かった班は代表1人が静かに前へ

並んだ順に、メガホンで先生に小声で答える

生徒1: It's a bear.

先生: No, it isn't. → 席に戻る

生徒2: It's a koala.

先生: Correct! → ★★★★★→ 席に戻る

生徒3、生徒4...



スライド②へ（★2）

スライド③も同じ（★1）

正解した班は答えを言わないよう静かに見る

補足

- 同じメガホンを全員が使うのが気になる場合は、各自に紙を1枚ずつ配布して、丸めて使うということもできます。（授業後に紙は捨てる）
- スライドごとに答えを言うことになるので、全12問となると、1時間まるごとかかるかもしれません。そこで、例えば、30分くらいでゲーム終了など時間を先に決めておくこともできます。（開始20分の段階で、「次がラストの問題です」という。

“The next one is the final question.”

